

中津川市のバロー、Vドラッグ3店舗



家庭で使い切れない食料品を持ち寄り、それらが必要とする福祉施設などに届けようと、バローホールディングス(HD)と中津川市、市社会福祉協議会は24日、市内のバローとVドラッグ計3店舗に、フードドライブポストを設置した。

(富樫一平)

未開封食品「ポスト」に

フードドライブで常設

市民に協力呼びかけ

同HDは、すでに県内外で約180基のポストを設置済み。県内では各務原市、恵那市などに次いで8市町目となる。中津川

市との間では今年5月、地方創生の実現に関する包括連携協定を締結しており、協定に基づく取り組みとなる。

ポストはルビットタウン中津川(同市淀川町)内のバローや、バロー中津川店(同市八幡町)、Vドラッグ中津川店(同市かやの木町)の3店舗に常設した。ポストに入れられるのは常温保存可能な食料品で未開封、賞味期限が1カ月以上残っている状態のもの。缶詰やインスタント食品、米、菓子やアルコールを除く飲料などが対象。

ルビットタウン中津川で設置式があり、小栗仁志市市長(中央)ら関係者、中津川市淀川町、ルビットタウン中津川

市長、同社協の三浦博行会長らがテープカットした。バローHDサステナビリティ推進室の秋元武室長は「市の健康づくり推進事業のイメージキャラクター『けんばちくん』を配した親しみやすいデザインのポスト。市の将来を照らすシンボルになれば」と語り、幅広い市民からの協力を呼びかけた。